

三次・田縁通り



三和・三良坂・吉舎・甲奴

三次みなみ4町を結ぶ地域資源発掘プロジェクトは、やまなみ大学三次キャンパスと地域住民の皆様との協働で、「住民主体、連携、共感」をキーワードに地域の景観や風土、文化などの身近な暮らしの中から、地域固有の貴重な地域資源を発掘し、それらの資源の再評価や三次みなみ4町に共通する資源を活用して三次みなみ4町全体が結ばれ、活力のある地域となるためのきっかけづくりを目指しています。

平成21年、三次みなみ4町を結ぶ地域資源発掘プロジェクトはスタートしました。

■地域資源発掘ワークショップ
1年間に何度も集まり地域の特長や専門家による地域資源の評価を聞きながら、意見交換。地域の資源を探り、その価値などを考えました。



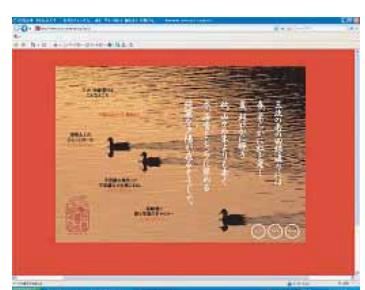
■地域資源発掘研修
4町の住民で4町内の地域資源を視察。知っているようでも知らない自分の住む町や近隣の町の資源を再確認。身近な資源を再発見し、改めて地域を見直しました。

平成22年度は地域資源の発掘とその具体化に取り組みました。

■地域資源発掘ワークショップ
発掘してきた地域資源やイメージを元に、4町に共通するイメージを探り、共通のシンボル作りのためのワークショップを開催しました。



■共通シンボル作成
共通シンボルやキャッチフレーズを「三次・田縁通り」「夕陽のふる里 三和・三良坂・吉舎・甲奴」と決め、4町の美しい夕陽のスポットを募集。20ヶ所の夕陽スポットの応募がありました。



ホームページ「三次・田縁通り 夕陽のふる里」を開設。三次みなみ4町の魅力や夕陽スポット、三次みなみ4町のホームページやブログを掲載したプラットホームのページも作成しました。

平成23年度地域資源の更なる発掘と、資源の評価やデータベース化に取り組んでいます。



発掘した地域資源の活用法や地域間ネットワークなどを検討。また、広島大学の地域連携推進事業の支援も得て、広島大学大学院工学研究科の田中先生に調査・研究・町づくりへの活用法などの協力を頂き、また広く住民の皆様にも協力を頂き地域資源の発掘を進めています。



三次みなみ4町を結ぶ
地域資源発掘プロジェクト
三和・三良坂・吉舎・甲奴

三次 田縁通り



三次みなみ4町の三和・三良坂・吉舎・甲奴には、豊かな農村文化、田園を彩る山野草、「堂さん」と呼ばれるお堂や美しい家並みもたくさん残っています。古きよき日本の原風景であり、日本昔話に出てくるような美しい田園風景です。その田園風景は、千年二千年という長い歴史の重なりと文化や人々の交流など、さまざまな縁(えにし)で結ばれてきた証です。だから「三次・田縁通り」と名づけました。

この誇るべき美しいふる里「三次みなみ4町」には、四季の移ろいの変化に合わせて味わいや趣きを変える美しい夕陽があります。広々とした田園や連なる山並みに沈む夕陽、町や水面を紅に染める夕焼け。麗な春の夕陽、鮮やかに輝く夏の夕焼け、紅葉よりも赤い秋の夕陽、薄雪を紅色に染める冬。それぞれの町の街角、田園の中、山の頂から、色々な夕陽と出会える「夕陽のふる里」です。

■きれいな夕陽▶三次みなみ4町（三和・三良坂・吉舎・甲奴）には、広々とした田園の中の夕陽、山並みに沈む夕日、ダムやため池の水面を染める夕陽など、多様で美しい夕陽があります。これらは、自然と何千年という人の営みが創り出した田園の芸術であり、ふる里の誇りです。



■美しい田園と街並み▶おだやかに広がる田園風景や日本昔話に出てくるような農村風景。また、歴史を感じさせる趣のある街並みがあります。これらは文化財として特別に保全されたものではなく、今も普通に暮らしの中にあることが素晴らしい、町全体の地域資源としての価値が高いといえます。



■不思議スポットや貴重な資源▶吉舎町の星田伝説。福善寺の石室の弘法大師。岩倉神社のパワースポット。小童・武塔神社の不死のケヤキ。三和町の旧上壱小学校校舎。田利・皆瀬の用水路。そのほか伝承や祭りなど、さまざまな貴重な地域資源がたくさん存在しています。



■堂さん▶4町に推定200ヵ所ものお堂があります。地区の入口や辻、また地区の中心部や墓地など、現存する場所はさまざまです。地域の祈りの場、交流の場と多様な性格があるようです。時には、旅人の宿としても使われたようです。文化庁はこのお堂の習俗を保存すべき民俗文化財に指定しています。



■山野草▶彼岸花、ユキフリイチゲ、福寿草、カタクリ、セツブン草などが地域住民の手によって保護されている他、キツネノカミソリ、オミナエシなどの秋の七草、カワラナデシコ、ナンテン、フキノトウ、ため池の水生植物など、この地域は山野草が豊かです。それは自然と人の豊か共生の証といえます。

